

借金ダイエット講座

【借金】ローン・クレカ・キャッシング・カードローン枠・リボ払い
からのお悩み解放と人生再創造のための借金残高のダイエット講座

【お悩み相談】と
【未来への方向性・青写真づくり】と
【ほったらかしで副収入を稼ぐ副業プログラム】が
セットになった日本初の講座！

*** こんな方にお薦め！***

収入のない主婦さんでもクレジットカード・キャッシング・カードローンで
作った100万円の借金から解放されたいという思いの方

奨学金500万円未満を返済し続けている社会人の方で
返済を加速させたい・楽（ラク）したいという思いの方

はじめに

借金ダイエット講座をダウンロードいただきましてありがとうございました。

ひょっとしたらタイトルに「ダイエット」とありましたので純粹に減量・ダイエットに関連した内容だと思って手にした方もいらっしゃるかも知れません。

本書はあくまでも「借金を減らしませんか」というのがテーマです。

- 毎月の返済日が不安だ（10日、25日、27日、また翌月5日・・・）
- この先、どうなるのだろうか
- 夫（妻に・家族に）にバレないだろうか
- 夫婦仲が破たんすることはないだろうか。幸せな家庭が壊れないだろうか
- どうしてこんなこと（今の状況）になってしまったのだろうか

「あ〜あ」と深いため息をついてもいっしょです。

悩んでいても一瞬で解放されるような解決策が目の前に出現することはありません。でも、何もしなければ明日も、明後日も同じような「不安な思い」が心の深いところからやってきます。

そして、同じような毎日が繰り返されます・・・ずっと続きます。

そんな人生をリセットしたいと思いませんか。

できることなら借金のない生活に・・・さらには・・・
もっと自由にお金が使えて、夢や願いごとをどんどんかなえていけるような生活になるようにしたいと思いませんか。

申し遅れました。私アキタは、元銀行員です。
今はネット通販のビジネスを手掛けています。

実は・・・借金・ローンでは・・・
知らない間に「余計な利息」「知らない・意識していない利息」をたくさん支払っているケースもあります。

あなたは毎月どのくらいの利息を返して（支払って）、どのくらいの元金を返済しているか認識していますか？

もし、クレジットカードのリボ払いやキャッシング・カードローン等を今現在利用している方で、少しずつ不安や心配を感じるようになってきたような方は、ぜひ一度立ち止まって足元の「借金・ローン」の見直しをされてみてはいかがでしょうか。

そのための講座です。

心構え的なものからスタートして借金を組み替え・借り換えたり（返済額の調整）、返済のための収入（副収入）を増やしたりする方法までをセットでご案内しています。

人生を前向きに変えていくための提案ができればと思っています。

何か行動を起こさなければ人生は（昨日・過去と）いっしょです。人生ってそんなものです。行動してみませんか？

最後に少しだけ自己紹介させていただきます。

九州地銀に約 31 年間勤務した秋田秀一と申します。
おかげさまで支店長・部長職まで経験させていただきました。

たくさんのお客さまに出会い、たくさんのお話を勉強させていただきました。
もちろん職業柄、いろんな【人生のケース】にも遭遇いたしました。

現役時代はどちらかというと、法人や個人にお金を借りていただくことがメインでしたが、逆に借金に（借りることも・返済することもといった両方の観点から）困っている人の相談も受けてきました。

雪だるま式とはよく言ったもので、意思が弱い人や問題先送りがくせになっているような人だとどうしても借金は増えるものだと思います。

精神的なものを含めて何かしらの貢献ができればうれしい限りです。
誰しも一度しかない人生です。

昨日までの人生をやり直す、リセットする、ということにつながれば幸いです。

(人生の一級応援士)

秋田秀一

第1部 【マインド編】

第2部 【実践編】

第3部 【ダイエット加速編】

の3編から成り立っていますが第1部は精神論的な話ですので、第2部・第3部から先に読まれることをお勧めします。

※【マインド編】は、「自分の意識を変える」ことがいちばんですから中身のボリュームが大きくなっています。(ですから後回しでも構いません)

第1部 【マインド編】

1. 良い借金と悪い借金

繰り返しますが私は約31年間、銀行に勤務していました。
預金していただいたお金を企業や個人に借りていただいて、借りていただいた方々からその利息をちょうだいして給料をもらっていたようなものです。

ある意味では人さまの借金のおかげで暮らしていたことになります。

ですから借金が悪だとか、すべての借金が悪いとか言うものではありません。

企業などが成長発展するためには「投資」という資金が必要ですし、個人でも住宅資金やご子息の教育資金などは「まさに未来の幸せへの先行投資」なのですから。

ですが・・・借金には、「良い借金」と「悪い借金」があるのです。

その説明の前に次の言葉の説明から入りたいと思います。

「**借金も財産のうち**」という言葉です。

この言葉は、銀行の中でお客さまの謙遜に対しての応酬話法として存在していました。

「うちは借金だらけだから。(貯金なんかできませんよ)」というコメントに対して・・・
「奥さま、借金も財産のうち、と言いますから」とよく会話していたものです。

実は・・・借金 ⇔ 資産 (財産) ⇒ なぜなら 借金 ⇔ 信用 だからです。

100万円借りることのできる人と、1,000万円借りることのできる人と・・・
1億円借りることのできる人・・・

何が違うと思いますか？ 少し考えてみてください。・・・
それは・・・

まさに、**信用が違う**、のです。

この人（企業の場合は、会社の経済状況と社長さんの人柄）に、お金を貸したら最終的にちゃんと（利息を付けて）返してもらえるだろうか、という信用です。

銀行はお客さま（預金者）や株主から預かった大事な預金や出資金を原資にして貸し出しています。
返ってこなかったら大変なことです。

この人にお金を貸したら、明日にでも夜逃げするかも知れないよね、という人には絶対に貸しません。

ですから、借金がある、ということは（ある意味で）あなたには信用がある、ということでもあります。

借金 ≒ 信用 ≒ 資産（財産）

借金がある人 = 信用があるわけですから、あとは返済するだけです。

できるだけ早く完済して、その分のお金をショッピングや旅行や美味しい食事などに回しましょう。

もっと人生が楽しくなるはずです。

では、2つの借金・・・「良い借金」と「悪い借金」の話に戻りますが、その前一つだけ知っておいてください。

【借金のメリット】

借金してちゃんと（毎月遅れずに）返済したら、（最終的に）全額完済すれば、この人は約束を守る人だ、信用のできる人物だ、というレッテルをはってもらえます。

さらに・・・（ありがたいことに）

「（当初に借りた金額より）もっと多い金額を貸しても、たぶん返してくれるはずだ」
「（お得意さまになるわけだから）もっと安い金利で借りていただくか」

という判断につながります。

借金が（借金の返済状況が）次の信用＝新しい借金につながる、というわけです。

**借金が（完済したことが）信用になった瞬間です。
借金が（約束を守ったことが）信用という財産に「化けた」ことになります。**

では、次は「良い借金」と「悪い借金」について説明していきます。

【良い借金】

まずは良い借金についてです。もちろん辞書や金融機関の決まりごとに「定義」されているものではありません。

- ・ 目的がしっかりしている借金
- ・ 金利が低い借金
- ・ 応援されるべき借金

具体的には次のような借金だと（私自身は）イメージしています。

住宅ローン、自動車ローン、教育ローン

などです。

住宅ローンなどは昔と違ってとんでもない金利水準になっています。

今では、1%～2%といった低水準での商品がつくられています。

（昔の金利水準は・・・いったい何だったの？ という感じすらあります）

もちろん自動車ローンも教育ローンも金利水準はそんなに高くないはずですが。

- ・ 住宅ローンは、融資対象物件として家やマンションが存在します。
 - ・ いざ返せない、となったら自宅を売却して返済してもらうという手段があります。
 - ・ だから（その分のリスクが低くなるから）金利が低く設定されています。

 - ・ 自動車ローンも融資対象となった車の現物そのものがあります。
 - ・ いざ、という時には中古車市場で売却して借金を返済する手もあります。

 - ・ 教育ローンは、子弟教育という大切な目的があります。
 - ・ 入学金や授業料など応援したくなる借金です。
- こういった借金は、「良い借金」と考えてもいいかと思います。

もちろんこれ以外にも結婚するための借金とか、家を改築するための借金とか、両親の介護のための借金とか、入院や手術のための借金とか・・・

以上のような借金は大切にしたい世界です。
借金には違いないものですが、単純に悪い借金だとは言えませんね。

いずれにしても、借金を完済することで、先ほども述べましたが

借金 ⇒ ちゃんと返済した人 = 約束を守る人 ⇒ 信用のおける人物

という評価につながるように意識することが大切です。

金融業界で「**約束を守る**」という評価は絶大です。

同じ借金をするのであればぜひ（間違いのない・信頼できる人だと思われて）次になげたいものです。

【悪い借金】

ズバリ言いますと（独断と偏見かも知れませんが）

- ・ 消費性の借金
- ・ 金利が高い借金
- ・ 借金のための借金（枠の使いまわし）

【消費性の借金】

消費性の借金、どんなものかイメージできますか？
もちろんすべてが「悪い」とはいいません。

というのは、自動車ローンなども消費性の借金と呼ばれたりもするからです。

自動車は良くて、テレビ・冷蔵庫・洗濯機などの電化製品はダメなの？という意見もあるはずです。

そうではなくて、消費性の借金というのはモノが残らない借金のことです。

- ・ 借金したお金で、美味しいものを食べた。
- ・ 借金したお金で、ギャンブル（パチンコ・スロット・競馬など）に費やした。
- ・ 借金したお金で、レジャーに行って遊んだ（家族旅行などは別です）
- ・ 借金したお金で、不要不急のものを買った。

といったような世界での消費のことです。

楽しかった、良かった、美味しかった、という気分・感情しか残らずに、モノが残らない消費のことです。

もちろんすべてが悪い、ダメといているものではありませんよ。
ケースバイケースです。

まあ・・・

「楽しい思い出が残れば借金したってそれでいいじゃないか」という方は・・・
たぶん借金がなかなか減らない方かも知れませんね。

本来は、そういった費用は借金なんかせずに別のお金から（たとえば貯金やお小遣いの範囲から）充当すべきものだという意見もあるかと思います。

あなたはどちらの考え方に近いですか。

さて・・・

この類（たぐい）の借金として使い途自由なカードローンというのもあります。
（カードローンは次の金利の高い借金にも関係してきますが）

30万円とか、50万円とか、100万円、200万円～といった限度額が決まっていて、その範囲内であれば自由に使える（借りたり・返したりできる）ローンです。

しかもキャッシュカードのように銀行のATMで（最近ではコンビニのATMでも）簡単に引き出せますので非常に便利な商品です。

でも、危険です。
甘い誘惑のある商品なのです。

下手するとどんどん金額がふくらんできます。
限度額に近づいてきます。
やがては限度額いっぱいになったりもします。

最初は、結婚式への参加（ご祝儀）で、次の給料日までの立て替えとして利用したものが、いつのまにパチンコ・スロット・麻雀・競馬・競輪・・・といった遊興費として使いこんでしまって・・・やがては限度額いっぱいになってしまった（汗）、なんてこともあり得ます。

そんな危険性のある商品なのです。

利息をもらう側としては（そんな使い方をしてもらった方が）狙いどおりなのかも知れませんが。

次は、金利が高い借金についてみてみます。

【金利が高い借金】

銀行系のローンであってもカードローンや消費性のローンにおいては金利水準というものが割と高くなっています。

また、消費者金融系のローンも金利水準は高くなっています。

いずれも商品の案内・PR・広告では「低い金利～高めの金利」という表示の仕方がなされているかと思いますが、実際には低い金利での契約はあまりないと思います。

そもそも低い金利でもいいから借りて欲しいというお客さまは、お金を借りない層の人たちだからです。

貯金もいっぱいあって年収も高い人は、そもそもお金を借りたりはしないものです。
(住宅ローンなどは別ですけど)

そんな層の人たちが借りるとなれば、低い金利が提示されるかも知れません。
(なぜなら、元々お金を借りる必要がないわけですから、金利が高ければますます借りないのが普通の考え方になるからです)

そうでない普通の人(お金を借りたい人、しかも消費性のお金を借りたい人)の場合は、やはり・・・それなりの金利水準になるものです。

実際に、もしあなたが今お金を借りているとして毎月の返済があるとしたら・・・
・その金額はいくらで・・・金利は何%で
・そのうちの元金部分がいくらで
・利息部分がいくらあるか、
というのをちゃんと把握していますか？。

もちろん1円単位までの数字を求めているものではありません。

お金が足りなくなる人は、そのあたりのチェックというか把握がいい加減な人がたくさんいらっしゃいます。

最近のクレジットカードなどはリボルビング方式での返済方法があります。

毎月が1万円ずつの返済ならば、(いつまでの期限かは別に知らなくても)いいや、という軽い認識の人には使い勝手がいいものです。

でも、危険というかもったいないというのが実感です。

毎月15,000円ほど返済しているけど・・・

実は・・・

利息部分が、10,000円で

元金部分が、5,000円だった、なんてこともあるのです。

これだと、ほんともったいない！です。

(いつまでたっても元金が減らない仕組みだからです)

その利息分のお金を、毎月毎月・・・

- ・ 美味しい食事
- ・ 欲しい洋服
- ・ 行ってみたいところ
- ・ 投資信託やFXなどの金融商品
- ・

などに使えたら

(今までとは違って) どんなにか素敵な毎日・人生になるのだろうか、と思ったことはありませんか？

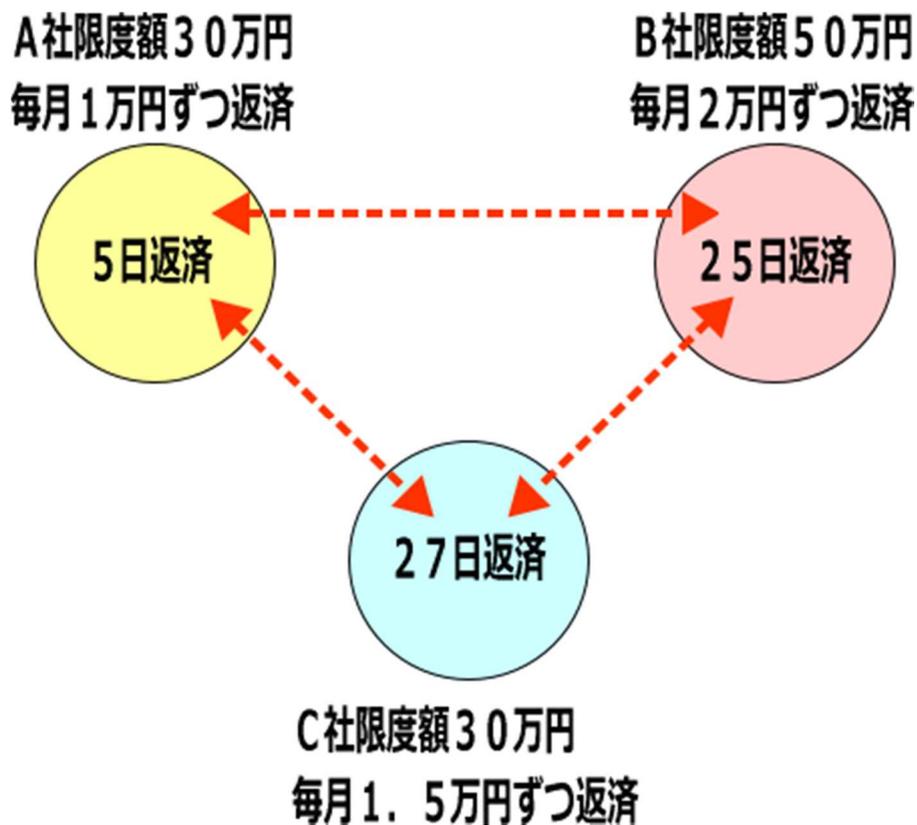
あと一つ、とんでもない世界が借金のための借金です。
枠の使いまわしです。

【借金のための借金】

いちばん余計なお金を無駄に使っているパターンです。
なぜなら・・・元金は減らないというパターンだからです。

カードローンやクレジットカードのキャッシングなどが該当します。

次の図のようなイメージが典型的なパターンになります。



下手すると、というか、たぶん間違いなく

利息だけを毎月払っている、元金が減った分だけまた借りる

というパターンです。

今はいいけど・・・いつまでたっても元金は減らない。
完済できる日がやってこない。

でも、いつかは全額返済しなければならない時がやってきます。

60歳になったら、65歳になったら・・・という世界です。

そんなキャッシングやローンの枠を使いまわしている人は・・・
未来永劫、今の状態が続くとは思っていないのでしょうかね。

- ・来月は臨時収入が（たぶん）入ってくるはず
- ・来年は給与が大幅アップすること間違いなし
- ・今度のボーナスは凄いかも
- ・きっと宝くじ（サマージャンボや年末ジャンボ）があたるかも
- ・いや、ロトやトトで高額賞金が当たるような予感がする

というような考え方・思いが頭の中に充満しているのだと思います。
超楽観主義者です。

それって、いつの日か人類滅亡の日までには、お釈迦さまがこの世に姿を現してくだ
さるはずだ、というような考え方と同じような気がします。

ほんと、もったいないです。
前記のイメージ図のとおりならば、少なくとも利息だけでも毎月3万円くらいは
払っているような感じです。

今の生活水準から、毎月3万円よけいに使えるお金があれば・・・

- ・旅行
- ・食事
- ・デート
- ・趣味（好きなモノ）
- ・装飾品

などがある程度、好きなように買えたりしませんか？

もったいない、ですね。

2. 表の借金と隠れ借金

前述の話と重なるものです。(読み飛ばしていただいても構いません)
言い方を変えて「より強い刺激」にしたものです。

【表の借金】

普通にいうところの「ローン」です。
住宅ローン、教育ローン、自動車ローン、使いみち自由なフリーローン・・・

ちやんと目的があって、いくらを何年で返済していくのか、というスタイルのローンです。

これはフリーのローンなどを除けば対象となるものが決まっています。
いざとなったら・・・
家を処分したり、車を処分したりして、借金の残高を減らすこともできてしまいます。

前述した「良い借金」というものです。
金利水準もそんなに高いモノではなかったりします。

※ただ、フリーローン的な目的自由な借入金は(他のローンと比べると)やや金利水準が高いものとなっていることが多いです。
(これは理由がわかると思います)

これを利用する人は「消費の癖」がある可能性の高い人、という判断も働きます。
(消費＝浪費と紙一重です)

きちんと計画・管理されて、きちんと返済していく分には何ら問題はありません。
決して「悪」ではありません。

ただし老婆心ながら、フリーのローンはできるなら利用することは避けた方がいいか
と思います。

さて、いくら当初の時点で計画的に管理された借入でも・・・ついつい借り過ぎてしま
って毎月の収入で返済できる以上の金額を借りてしまうと大変です。

借金が次から次へと借金を呼び込んでしまおう、ということになりなりかねません。
強い意思でコントロールしてください。

借金は借金ですから。
慎重に対応されるのがいちばんです。

次が「裏の借金」「隠れ借金」と私が読んでいるものです。

※余談ですが・・・会社の会計だと帳簿に記載されない「簿外の借金」といったようなものといっしょです。

【裏の借金】

隠れ借金というピンとこないかも知れません。
まあ、ツケ払いみたいなものでもあります。

顔なじみの飲み屋さんについてツケで飲むようなものと同じイメージです。
意外と自分では「借金」として認識していない、というようなことがあるものです。

これがいちばん危ないことです。
ズルズルと膨らんでしまう可能性があるからです。

実は・・・臭いものに蓋（ふた）をする、ではありませんが、わざと目を向けない、
意識しないことで「雪だるま式」に増えることも（人によっては）あります。

ここでは「裏の借金」というか、気づいておいて欲しいことをあげてみます。
まずはキャッシングです。

【キャッシングで複数のカードの使い回しをしていませんか？】

- ・ A社のクレジットカード・・・毎月5日返済
- ・ B社のクレジットカード・・・毎月10日返済
- ・ C社のクレジットカード・・・毎月25日返済
- ・ D社のクレジットカード・・・毎月27日返済

この返済日の時間差を利用して「使い回し」というパターンにおちいっている人はいませんか？

もしそうなら・・・「危険」「極めて危険」です。
ズルズルと続くことで「破たん」の日がやってくる可能性が高まります。

もし、この4社（4枚のクレジットカード）から10万円ずつキャッシングしたら・・・
40万円が手に入ります。

街中にあるATMの機械で「引き出し」すれば簡単に40万円を手に入れます。

でも、翌月から返済していかなければなりません。
A社の10万円を返済するのに、D社のキャッシング枠でまた10万円を利用して、

B社の10万円を返済するために、C社から10万円をまたキャッシングして・・・このパターンがずっと続いていきます。

単純に考えるとすぐに40万円は使っても、次の40万円は返すためにまた借りる形ですから最大80万円のお金がグルグル回るような感じです。

しばらくはハッピーかも知れません。
でも、利息部分だけがどんどん加算されていきます。

1枚のカードで1年間ずっと10万円、場合によっては20万円をずっとキャッシングし続けたら・・・

1枚のカードにつき、年間約3万円くらいの利息を支払わないといけません。
ということは・・・

4枚のカードで12万円の利息です。
12万円を払っても、返しても、利息分だけです。

キャッシングの元金部分は減らないのです。

そして・・・
気づいた時には・・・

大変なことになっている、というか、それを回避するために限られた他の借金調達手段に走り・・・その結果・・・

さらに『泥沼』に入り込んでしまったりします。

最後には抜け出せなくなる、というよりは『沈んでしまう』しかない、というレベルになったりもします。

さあ、意識を変えましょう！

【処方箋】

- ・借金体質からの体質改善を本気で考える、そして「やる」。
- ・生活パターンを見直す。
- ・場合によっては、生活水準も見直す。
- ・副業などで（親兄弟・周囲の支援も含めて）返済を加速させる。
- ・できるだけはやく1枚ずつでもカードを廃棄する。
（キャッシング枠を減らす。カードそのものを解約する）
- ・新しい人生を創造する。

といったようなことを本気でやる必要があります。

どうぞ、キャッシングまみれの人は「目を覚まして」ください。
これまで悪い夢を見ていたと思って、です。

意識も生活パターンもすべてを切り替えませんか？

借金返済の一つのバー（目安）が（これから何回も出てきますが）、100万円です。
100万円単位の水準を超えたら・・・「タガ」がはずれますから。

100万円も200万円もいっしょだ。200万円も300万円もいっしょだ、という思考です。

1枚のカードに50万円のキャッシング枠がついていたら・・・
4枚で200万円です。

キャッシング枠を満額使って、それを使い回すことになれば・・・
とんでもないことになります。

人生がキャッシングの利息だけの支払いに追われることになりかねません。

もちろん、ボーナス支給が確実にそれを来月に控えていて、
⇒ 今月、友人の結婚式があったから、瞬間的に（一時的に）用立てる、
という時のキャッシングは別です。

そういったコトまで否定するものではありません。

【リボ払いは月賦？ それとも借金】

リボ払いとはリボルビング方式と呼ばれている支払い方法です。
カード社会が浸透するまでは、月賦という分割払いが存在していました。

これがクレジットカードを使っただけの分割払いに進化したものがリボ払いです。

10万円のバッグを購入しても・・・その分の支払いを

- ・毎月3,000円にしたり、
- ・毎月5,000円にしたり、
- ・毎月1万円にしたり・・・という支払い方法です。

サラリーマンのように毎月（ある程度一定額の）給料が入る方にはうれしい代金支払い方法です。

でも、これもキャッシングと同じように「裏」の顔があります。

毎月の支払い額と残高との関連や金利水準から、いちがいには言えませんが・・・
それでも金利水準は年間約14、15%くらいのはずです。

約100万円分のリボ払いがあったら・・・

最終的には、トータルで約140万円くらいの返済額となるようになっていたりします。

これが、少し減ったら・・・また別の商品を購入したりして、残高が増えて・・・
それから減って・・・、また増えて・・・

とやっていたら、ずっと『利息』だけを支払うような『毎月』になってしまいます。

【処方箋】

・欲しいモノをクレジットカードで買う時は一回払いか、せいぜい二回払いまでとする。

・欲しいものは、極力、貯金が先でそれから購入するように心掛ける。

・生活水準で『みえ』をほらない。

・生活パターンなどを見直す。

・リボ払いが使えるカードを段階的に減らす。

（最終的にはリボ払い機能を外してもらう）

・貯金、投資といったことに目を向ける。

冷静に考えてみてください。

100万円分のリボ払いで40万円が利息部分なら・・・
その40万円分のお金を、旅行・自分磨き・美味しい食事などに使った方がずっと「いいよね」と思いませんか？

何となく「40万円分、損をしている」ような気がしませんか？

こんな（損をしているような）コトを知らずに、
知っていても「知らないふり」をして、
日常生活を続けているとしたら・・・「もったいない」と思いませんか。

リボ払いは月賦ではありません。
（もちろん厳密には月賦なのですが）

高利貸し的な「仕組みもの」です。
返済してもらうことが続く限りは、カード会社が儲かるようにできているものです。

リボ払いも、「できるだけはやく」返し終わる、ということを意識してみませんか？

体質改善。
人生の再創造、です。

【カードローンをちゃんと残高ゼロまで返済したりしている人は別です】

カードローンを利用して、満額いっぱい・・・借りて・・・少し返済したら、また枠いっぱいになるまで『追加』で『借り増し』をして・・・

の繰り返しで日々生活している、といった使い方をした経験のある人はいませんか？
今現在でも（みごとに）そうしている人、はいませんか？

ぜひとも、心を入れ替えませんか？

- ・カードローン残高がゼロにならない、
- ・反復利用でずっと残高が残っている（増えたり・減ったりしながら）、
- ・カードローンとクレカのキャッシングで使い回している、

という状況なら「それこそ危険シグナル」です。そろそろ赤信号です。

社会的な地位・毎月の給料が高い人・・・枠が大きい・・・金利も安い
給料が安い人・・・枠が大きくはないけど・・・金利が高い

あなたは「どちらのタイプ」ですか？

カードローン会社がいちばん儲かるのは、どちらだと思いますか。

.....

もちろん.....

金利が高い方です。

しかも何回も、上手くいけば「ずっと」使ってもらえるからです。

リピーター、固定客という後者のタイプは、お得意さまというよりも（言い方が悪いですが）「カモ」なのです。

カードローンも、できれば「はやく返してしまいたい」タイプの商品です。

【処方箋】

- ・カードローンはできるだけはやく返済してしまう。
- ・いざ、という時のために所有している、というのは絶対に自分への甘やかし。
- ・いざ、は貯金で対応する。
- ・カードローンは、もらえるものではなくて返さないといけないもの。
- ・カードローンだけでなく、クレカも期限が（年齢制限）がある。
⇒ その時点で『全額いっぺんに返してください』となったら大変です。

そして、意外とはやく『その期限がきてしまう』ものです。

ここまでいかがだったでしょうか。

何か一つでも「意識に届くもの」があったらうれしい限りです。

この章の最後に一つだけ、質問をさせてください。

クレカのリボ払いがある人、
キャッシングを使い回している人、
カードローンを利用している人、への質問です。

あなたは・・・借金と隠れ借金を・・・

いつ、完済させる予定ですか？

（いつ、終わる予定ですか）

3. 未来永劫続く借金体質

あなたは自分が中高年になる頃までには・・・借金のすべてを完済できると思っていますか？（住宅ローンは別です）

今から体質改善しないと・・・ほんと大変ですよ。

本章の詳しい話は「おわりに」で説明させていただきます。

※もしあなたが、「自分は借金体質」だと自覚しているなら・・・

未来永劫続く可能性のある「借金体質」からは

（いいかげんに）卒業しませんか？

今、この瞬間から、です！

4. 決意・決断・決心（未来への宣言）

今のあなたの状況（借金返済に追われるような日々）は、いつの頃から始まりましたか？

もちろん生まれた時からではありませんね。

子どもの頃に欲しいものがあつた時、無制限に両親などに買ってもらえていたわけではないと思います。

衝動買いや予定もしなかった収入等の変化で今の状況になってしまった、少しずつ少しずつ今の借金の状況になってしまった、というのが実際のところかと思ひます。

※結局はそれも見通しが甘かつた、自己管理・リスク管理が不十分だつたということかと思ひますが。

いつの頃からプラスの日々がマイナスの日々になつたのか、振り返つてみてください。ただし、その原因追求ができたからといって、その時・その日・その出来事等を犯人に仕立て上げていつまでも後悔する、その時の判断を恨む、ということでは前に進めません。

「あー、あの時あんな判断をしなければ・・・」

「あの日に無理な買い物さえしなかつたら・・・」

「あの時に十分な検討時間をもらえなかつた交渉相手が悪い」

「そもそも自分にとっては高い買い物だつた」

.....

原因追求ができたなら、その判断をしたコト・持続的にそういった生活＝人生を選択し続けてきたコトの（意思決定と行動の）ミスを自覚しましょう。

結局は、自分自身の問題だつたはずです。

いくら他人や出来事などに原因があつても選択したのは自分自身なのですから。

今のあなた人生の主役・主人公は、間違いなく「あなた」自身です。

でも、今ならまだ人生をリセットするチャンスはあります。

心を入れ替えて再スタートするだけです。

ちょっとだけ時間をとってイメージしてみてください。

お金の心配をすることなく欲しいものを買えている自分を
行きたいところに行っている、遊んでいる自分を
家族や大切な人と過ごす楽しい時間を共有できている自分を
お金がどんどん増えていっている預金通帳を眺めている自分を
しかも通帳を手にしてニヤニヤ（ニコニコ）している自分を。

さあ、リセットです。
再スタートです。
やり直すだけです。

それには・・・**決心**するだけです。**決断**するだけです。**決意**して**覚悟**するだけです。

今日までの、いえ昨日までのあなたとはサヨナラです。
新しい気分、新しい意識、新しい考え方で新しい一歩を踏み出してください。

いよいよその決意・決断・決心すべきポイント（第1のポイント）をお伝えしますね。

たぶん親御さんや先生・先輩・友人からも聞いたことがある人もいらっしゃるかと思
います。
もちろんあなたも知っていることだと思います。

それは簡単なことです。
自分自身に言い聞かせてください。
ここからのスタートです。

「入ってくる収入（もらう給料）の範囲内で生活すること」

今やクレジットカードやローンカードなどで消費性のお金を前倒しで使えることが
できる時代になってしまっているのがいちばんの要因なのかも知れません。

便利な仕組み・ツールが存在してしまっている状況ですが、あくまでもそれを使うのは人間です。

昔は貯金して貯めないと、その商品の値段までのお金を用意しないと買えなかったのです。

それが分割払いというありがたい仕組みが登場してから次々に新しい付加価値のついた商品・サービスが誕生しました。

クレジットカードという便利なものは手放せないものになってしまいました。
(もちろん現金主義でカードを所有しないという方もいらっしゃいますけど)

我慢しなくてもモノが買える時代になってしまっているのです。

企業側が(クレジットカードなどのサービスを提供する会社も含めて)消費拡大を意図して仕組みを用意してきた、仕掛けてきた、という流れに一消費者として乗っかってきているということですから(ある意味)しょうがないのかも知れません。

だからこそ!

意思決定と行動に至るまでの判断、そして行動してしまうすべての責任は自分自身にあると考えてください。

少し耳の痛い話ですね。

収入以上のお金を使う、モノを買う、消費する。
給料(副収入を入れても入ってくるお金)以上のお金を使う(未来の支払いも含めて)。

そういったことをストップしたらお金って貯まりそうじゃありませんか?

いつまでもいつまでもそんな「我慢」をするわけじゃありません。

一時の辛抱です。

我慢です。

変身です。

これまでの自分とはちょっと違う人物像を「まるで役者として」演じるだけです。

それまで

「入ってくる収入（もらう給料）の範囲内で生活すること」

を実行するだけです。

ダイエットをイメージしてみてください。

ダイエットしたい人がダイエットに成功するまで、

- ・カロリー制限を意識する。
- ・摂取カロリーを控える。
- ・運動する。
- ・ちょっとしたことでも身体を動かす。
- ・おやつを食べないでおく。
- ・毎日体重計にのる。
- ・お腹を凹めるように（腹筋に）力を入れておく。
- ・成功後に着る洋服や行きたい場所ややりたいコトなどをイメージする。
- ・成功後の人生をワクワクしながら思い描く。
- ・

といったことをするものです。

ダイエットにチャレンジするのと同じように、新しい生活パターン・行動パターンをイメージしてみてください。

節約しなさい、儉約したらいいですよ、無駄遣いストップをお薦めしますよとは言いません。

そんなことは（あなた自身が）百も承知ですね。

決意・決断・決心、そして覚悟！

するだけです。

今日から（しばらくは）

「入ってくる収入（もらう給料）の範囲内で生活すること」

を強く意識して生活してください。
常に自分の判断・行動を（自分で）見張ってください。チェックしてください。
新しい自分を演じて、新しい人生を**創造**してください。

※参考までに・・・

しばらくクレジットカードは使わない、ということでもありますよ。

つい使ってしまうことを思いとどまる、支払い先延ばしを意識的に選択しないでおく、
ということです。

どうぞ試してみてください。
結構、大変だと思いますけど・・・本気で体質改善をしたいというなら、やるべきです。

5. あなたの借金に関する情報はどこまで伝わる？

以前は、銀行からの借金などは本人がバラさない限りは他の銀行にバレることはありませんでした。

(もちろん今でもプロパー融資といわれるその銀行独自の判断でお金を借りる法人融資等の分野ではその仕組みが残っています)

ただ、今ではクレジットカードなどが普及したことと、国策としての多重債務者の発生を防ぐ目的から、個人のクレジットカードの枠(キャッシングの枠も含めて)や消費者金融からのローン残高などの情報はすべて一元的に管理されているのです。

さらに最近の銀行の個人融資では、消費者金融会社やクレジットカード会社と提携した商品が主流になってきています。

ということは・・・金融機関それぞれ各社間でというよりも業界として連携が行われていると判断してください。

つまりあなたがお金を借りようとして

- ・ A社にローンを申込みました。
- ・ A社だけだと不安だったのでB社にも申込みました。
- ・ A社からは断られました。
- ・ B社からは減額でならOKの返事がきました。
- ・ B社から〇〇万円借りました。
- ・ 途中で、毎月の返済が遅れるようになりました。
- ・ しばらくしてからC社にお金を借りようと申込みました。

はい、この段階でどんな情報が「あなたの履歴」として残っているか想像できますか？

実は、大前提としてお金を借りるのを申し込む時に書類にサインさせられたりします。経験がある人もいらっしゃるかも知れませんね。

あの中には、あなたのお金に関する情報を（全国レベルの機関に）登録しますよ、以前、あなたが借金した時の登録されている情報も全部チェックしますよ、それでもいいですよ、ということを約束させられているのです。

知らず知らずのうちに、というパターンが多いかと思います。

（電話等で説明されても、あまり長話をしたくないでしょうし、職場などに消費者金融からの電話が来ていたら早く切りたいと思うのは人情ですから）

ズバリ・・・

以下のような感じだと思ってください。

- ・ A社にローンを申込みました。・・・
日付、金額、内容、審査結果が残っています。
- ・ A社だけだと不安だったのでB社にも申込みました。・・・
日付、金額、内容、審査結果が残っています。
- ・ A社からは断られました。・・・
ダメだったという審査結果が残っています。
- ・ B社からは減額でならOKの返事がきました。・・・
減額でOKだったという審査結果が残っています。
- ・ B社から〇〇万円借りました。・・・**いくら借りたという内容が残っています。**
- ・ 途中で、毎月の返済が遅れるようになりました。・・・**ちゃんと記録されています。**
(※この人は、貸したお金をちゃんと返さない人だという履歴書になるものです)
- ・ しばらくしてからC社にお金を借りようと申込みました。・・・**この場合・・・**
- ・ ・ ・ ・ ・

はい、ここでクイズです。

借金の申込みを受けたC社は、どこまでの情報を見ることができるでしょうか。

実は・・・

C社は、A社・B社に申し込んだ日付・内容から始まって、
B社での返済状況、最近C社に申し込んだ内容までのすべてを
(A社とB社にほぼ同時期に申し込んだ、A社は否認された、B社は減額された。
最終的にB社に申し込んだ、といった事実を含めて)
審査の参考資料としてチェックできるようになっています。

という世界なのだと思います。そう認識しておいてください。

何社も借金を申し込んだり、延滞したり（返済が遅れたり）するのもすべて

「(お金に関しての) **あなたの履歴書**」として

(お金を貸す側がチェックできる) 記録が存在しているのです。

老婆心からのアドバイスです。

そんな履歴書から早く卒業しましょう。

少しでも早く借金を返済しましょう。

もし、複数の消費者金融などから借りている時には、**1社でもいいのでまずは完済**を
目指しましょう。

もったいないですよ。

もし毎月の返済で、利息部分がかなりの比重を占めるのであれば、なおさらです。

6. コインの積み上げで体質改善の第一歩を踏み出す（小さなことから）

（100円の法則・・・騙されたと思って・・・貯まりますから）

（意識が変わってきますから）

できない人は10円でも構いません。

お金が貯まらない人、無駄遣いをしてしまう人（もったいないと思わない人）、楽しみを先取りしてしまう傾向のある人、将来に対して「どうにかなるよね」と極めて楽観的に判断してしまう人、・・・

そんな人は、お金の貯まる人とは波動（オーラ）が違います。
お金・資産が積み上がる＝増えていくということに対する感情・気分・思いが他の人と違うのです。

人として成長することが自分で実感できていないタイプの人なのです。

その意味では年齢は重ねてきているけれども・・・精神的な・潜在意識レベルでの成長があまりないと言えるのかも知れません。

それを今日から変えましょう。
進歩・進化しましょう。
お金に関して（精神的に）成長するのです。

よく雑貨屋さんなどにいくと「500円缶」とか「10,000円缶」という貯金箱が販売されていますね。
満杯になったら〇〇万円貯まりますとか書いてあるグッズです。

わざわざそんなグッズを購入する必要はありません。
毎日毎日、目で見ても、お金が貯まるのを（積み上がるのを）実感するだけで構いません。

- 現金の大切さを感じるのです。
- 積み上がることの喜びを感じるのです。
- 自分の体質が変わりつつあること、運命が動きだしたことを感じるのです。

では、そのやり方です。

ひょっとしたら実践されたことがある方もいらっしゃるかも知れませんが、でも続けないとダメです。

続けてください。

玄関先や居間など毎日目につくところに・・・

毎日100円ずつ積み上げていきます。

1日目、100円。

2日目、さらに100円。(で計200円になります)

.....

10枚積み上げて1,000円になったら「硬貨の山」を変えてください。
次の山に移ります。

次の図のようなイメージです。



30日までいったら10枚ずつの山が3つあることになります。

1ヶ月間の最終日に「これだけ貯まったなあ」と実感しながらその硬貨を封筒（袋）に入れて、〇月分3,000円とか、〇月分3,100円と記入して保管します。

で、また新たに（翌日から）100円ずつをスタートさせます。

できればこれ（この封筒・袋）も、目のつくところに置いておきます。

そして、時間がある時にその封筒（袋）のお金を預金通帳に入金してください。

毎月、月末が過ぎてから入金してもいいですし、何ヶ月分か貯まった時点で入金しても構いません。

毎日毎日100円ずつ貯めていく、それを毎日目で見ることができるようしておく、意識するようにしておく、お金が貯まることそのものを実感するものです。

これは意識を成長させるための実践訓練でもあります。

毎日貯まっていく感覚を楽しんでください。

自分はお金を貯めることのできる人間だ、自分のお金が・資産が増えていっている途中だ、自分は成長している人間だ、と無意識のうちに潜在意識に刻みつけてください。そういう人間だと思い込んでください。

あなたのお金に関する才能・資質を変えるためのものです。

1年で100円×365日＝36,500円貯まることにはなりますが・・・
それ以上にあなたの資産は膨れ上がっていると思います。

7. 人は見た目ですが・・・

あなたのお金に対する信用＝お金の履歴書は何？

実は、あなたには、もう一つ履歴書が存在します。

あなたは初めて会う人をどこで判断しますか？

人は第一印象が大切だと言われたりしますが、本当だと思いませんか？

就職・転職の時に履歴書というのを作成します。

自分自身のこれまでの学歴・略歴や取得している資格などを記載するものです。

自分という人間がどんな人物なのかといった概略を、可能な限り短時間で知ってもらうためのものですね。

実はお金の世界にはこれに代わるものがあります。

何だと思いませんか？

.....

それは・・・通帳、預金通帳です。

預金通帳は、あなたの代わりに、

- ・あなたのお金に対する考え方
- ・これまでの消費動向（買い物や支払いについてのあなたのくせ等）
- ・クレジットカードの決済状況（場合によっては返済の遅延状況）等
- ・給料などの収入に対する預貯金の動向（割合や金額など）
- ・支出、消費の動向・傾向
- ・計画的な消費行動をする人かどうか
- ・お金の支払いや約束に対してちゃんと守れる人かどうか・・・

などを無言で証明してくれます。あなたの代わりに、です。

ということは・・・金融機関はあなたの預金通帳を見れば、あなたのお金に関しての人となり判断できるということなのです。

※もっとも、実際の預金通帳がなくても（あなたの口座の元帳はコンピュータに残っていますから）、それを確認するだけです。

ですから、お金の相談を受けた銀行などの金融機関の担当者が「通帳を見せてください」と要求するのは当然ですね。

通帳に記載された事実と、ヒアリングであなたから情報を得ることによってあなたの信用状況を判断することになります。

よく銀行の自動車ローンや住宅ローンなどで、給与振込が指定されている人はお金を借りる時の金利が少し安くなったりします。
そんなサービスを競ってアピールしている銀行もたくさんあります。

これは、・・・

いざとなれば給料が入金された時に（もし返済が滞っていたら）、その入金された給料の差し押さえをしようか、ということも簡単にできることになります。

銀行側にとってそんなメリットがあるからこそ、給与振込のあるお客さまには金利をお安くしますよ、ということをやっているのです。

そんな

あなたの預金通帳はキレイですか。

いつ見られてもいいものですか。

実際に人に見せるものではありませんが、お金の相談をした時に銀行員に見られても大丈夫ですか。

実は・・・

お金が貯まらない人は・・・自分の預金通帳をじっくりと眺めたることをあまりして

いないのではありませんか？

まして通帳どこにしまっておいたか忘れてしまった、とか
キャッシュカードしか持ち歩かないのでわからない、とか
何年も通帳記帳していない、とか

・・・

預金通帳と（お金と）そんな付き合い方をしていませんか。

今日からあらためましょう。

最近の消費者金融のローンの判断はとんでもなく速いです。
（ひょっとしたら体験された方もいらっしゃるかも知れません）

30分とか、半日で審査結果がでたりします。
昔の銀行融資では考えられなかった世界です。

ただ、最近では銀行も消費者金融の会社と提携して短時間で審査結果を返事する商品
＝ローンを用意していますから、はやい審査結果につながるようになっています。。

はやい審査結果でOKが出る借金は、金利が高いものが多いのも事実です。

今なら納得がいきますね。

あなたの給料が振り込まれる預金通帳の内容等をチェックすることなく判断して承認を出すわけですから、金利が高いのは当たり前です。

預金通帳のチェックなしにお金を貸すというリスクを取るわけですから。

もし、あなたが借金の組み替え・借り増しなどを金融機関に相談するとしたら確実に預金通帳の提出を求められます。

預金通帳は

(お金・買い物・消費行動・お金に関する性格や考え方がわかる) 履歴書

なのです。

一度、時間のある時に自分の(メインの)預金通帳を眺めてみてはいかがでしょうか。

あとは心掛けるだけですから。

ここまでだいぶショッキングなこともお伝えしてきました。
気分を害された方もいらっしゃるかも知れません。

でも、借金ゼロが当たり前の人たちが存在するのも事実です。

残念ながらあなたは借金があって当たり前、という思考にどっぷりと染まっていると思います。

何らかの「きっかけ」になればありがたいですね。
次は借金の悩みからの解放のための実践編になります。

第2部 【実践編】

1. おまとめローン（借金の組み替え・借り換え）についての基礎知識

このおまとめローンという商品は、銀行とクレジットカード会社や消費者金融会社とが提携して開発している商品です。

つまり短時間で審査してくれる裏側に、クレジットカード会社・消費者金融会社が存在している、ということです。

このローンは・・・

消費性のローンを、複数ある借入を一本にまとめて、毎月の返済額を軽減しませんか、というローンです。

多重債務の人にとってはありがたい商品です。

もちろん申し込む金融機関の審査がありますから、軽減したいけど必ず承認（OK）となるとは、限りません。

そして・・・この「おまとめローン」の審査の結果、ダメだったら・・・

銀行にお願いする手段としては、「銀行独自の判断での融資＝プロパー融資＝会社などの法人が利用する融資」しかなくなります。

このプロパー融資を利用するとなると、個人だとハードルが高くなります。連帯保証人（本人が返済できなくなったら本人代わって返済する義務がある保証人）や不動産などの担保が必要となります。

※そもそも、おまとめがダメというところからの復活交渉ですから、審査の結果ノーとなる可能性が大です。

この「おまとめローン」を利用して借金の組み替え・借り換えをする時のアドバイスを一つ・・・

老婆心からのアドバイスです。

おまとめローンを利用して一本化なり、毎月の返済額負担軽減に成功したら・・・

これまで使っていたクレジットカードやカードローンなどは破棄しないとダメです。

怒らずに聞いてください。たとえが悪いかも知れませんが・・・

覚醒剤中毒で入院して覚醒剤から脱却した人の目の前に、いつでも使えるところに覚醒剤と必要な道具を置いておけばどうなると思いますか。

再度、手を出す可能性が高くなるのは当たり前ですね。(再犯、というヤツです)

これと同じことです。

おまとめローンで、一本化や負担軽減に成功したら以前使っていた

(甘い誘惑としての) カードは

破棄！

です。

おまとめローンは、まさにリセットしたことといっしょです。
人生をやり直す、リセットすることができた、ということです。

自分で「戻る」ことのないようにしましょう。

第1部で、**決意・決断・決心**しました。思い出してください。

「入ってくる収入(もらう給料)の範囲内で生活すること」

(不要な)カード等の破棄と生活パターン・消費行動を変える！

2. 借金の組み替え（借り換え）が難しい理由

まずたいの銀行では「おまとめ的なフリー目的のローン」も用意しています。

ただ、冷静に考えてください。

借金を返済する、ということはそのための資金の裏付け（たとえば毎月の給与）が必要です。

今、A社から20万円、B社から30万円、C社から30万円借りておきましょう。

この3社、A社B社C社の分を全部含めて合計80万円で、別の銀行に申込みおしましょう。

この場合は、3社で80万円を返す時の元々の収入は毎月の給与です。

80万円を返す時の、返済原資である給与は決まっています。

もちろん、3社合計の返済額が1社にして借り換えることで減ることもあります。（その場合、逆に返済期間は延びることになります）

毎月の返済額は減ることになるのでメリットあり、なのですが・・・

相談された銀行側からすると3社そのままの金額80万円での返済であっても、相談された銀行が一本化した場合であっても、実際に返済する人の毎月の収入は変わらない、というのが現実です。

繰り返しますが・・・※返済の元となる給料は増えないのです。

だから・・・

相談する金融機関次第ですが「一本化」が難しいこともあり得るのです。

何となくで構いません。組み替えや借り換えの難しさや実額としてのさらなるお小遣いを期待することの難しさがイメージできましたでしょうか。

何となく不安が芽生えるようでしたら・・・

ここまでの段階に至ったことを反省して心を入れ替えましょう。

3. 借金の組み替え・借り換えが不可となっても・・・

あなたが借金を組み替えようとして金融機関に相談したけどダメだった、というようなことがあっても単純にはあきらめないでください。

- ・心を入れ替えて
- ・消費行動パターンを変えて
- ・結果として預金通帳に記載される内容が変わってくるなら

(将来において) 新たにお金を借りることのできる可能性はあるのです。

人生をやり直す、再創造するのに「遅い」ということはありません。

たとえば・・・

仮に、以前、借金の組み替えをお願いした時にノーの返事であっても・・・その後、いくつかの借金を(残高の少ないものからでも)減らしたり、完済したりして、さらに消費行動や消費パターンが変わったりして日々の生活そのものが変わったりすれば・・・

結果としてあなたの通帳の内容が変わってきます

(もちろん全国版の履歴書も変わってきます) から、再チャレンジでOKとなることは十分に期待できるものでもあるのです。

毎月の返済額 (借金の残高)	毎月の収入 (副収入含む)
これが減ったり、一部完済したりするだけでも 信用度合いは変わってきます!	これが増えたり、副収入が入ったりすれば借りることのできる限度は いくらでも変わってきます!

【裏話的な話題】 時間のある時にでもお読みください。

【与信（よしん）というのは信用の枠を与えること。お金を貸すこと】

銀行側（金融機関側）からみでの言葉です。（少しだけ専門用語の勉強です）

クレジットカードには枠があります。
その枠は、信用枠、信用という枠です。

ある人は「限度額〇〇万円」まで、という時には、
その限度額まで、自由にクレジットカードで＝信用で＝今、お金がなくても＝
カード会社が立て替え払いで、買い物などができますよ、ということです。

そして、クレジットカードの信用枠も借金と同じ性質のもので、記録・履歴が残る
というものです。

お金をいくら借りたことがあるか
ちゃんと期限までに返したか、返せなかったか
借金の相談に、いつ、どこに行ったか
その結果はどうだったか

（いろんな消費者金融やカード会社に申請するとそれだけ）実は・・・お金に困ってい
るのではないか（とも判断されます）

年収はどのくらいなのか
家族構成は
持ち家か貸家住まいか（住宅ローンがあるか）
勤務年数はどうか
勤めている会社の状況はどうか（倒産の可能性はないか）
.....

こういった記録・履歴から ⇒ この人物はお金を貸しても
（クレジットカードを与えても）大丈夫なのか、ということが判断されている、
ということです。

それが（お金を貸す側からみでの）与信（判断）ということです。

であれば・・・であるからこそ・・・

生活パターンや消費行動パターンを変えて、経済状況が変化すれば、借金がいくつかわり済したら、いくらでも（借り替えや組み替えなどに）再チャレンジすることは、そして新たに借金をすることは可能、ということになります。

ですから、悲観的になり過ぎる必要はありません。
人生はいつからでも、やり直しができます。

これまでの人生をリセットする。
やり直す。

そのチャンスは、今、かも知れないのです。

4. 正攻法での借金の組み替え・借り換え（検討作業を経験する）

まずは正攻法で自分の借金人生を振り返りましょう。（反省も兼ねています）

毎月の返済額の負担を軽減するための正攻法のやり方です。
（借金の組み替え・借り換え）

大前提があります。それは、

これまでの生活パターンや消費行動を反省して、これからは改めるという強い意思が絶対に必要です。

また、それがないと組み替え・借り換えをお願いする相手（銀行員・金融機関）を説得することができません。

銀行にお願いに行って

「毎月の返済を減らしたいのです。でも、減った分のお金でパチンコ行ったり、遊んだりする予定です。ぜひともお願いしま〜す！」

なんてノリで説得しても・・・

（相談された側は）「絶対にこの人は、また借金が膨らむだろうね」と判断することになるのが目に見えています。

ということは相談にのってもらえない、または「ノー」の審査結果になるということになります。

では、実際の相談にチャレンジする前の準備のポイントです。

- ・ 通帳を用意します。
- ・ 借金している先ごとの返済予定明細があればそれも用意します。
- ・ （別な用紙に・コピー用紙でも構いません）
借金の内訳を各社ごとに全部抽出します。

※サイトからダウンロードできるサンプル用紙の要領でも構いません。

⇒ <https://www.affi8.com/paper.pdf>

【次のステップ】

- ・ 毎月の返済額とボーナス返済を含めた年間の返済額をそれぞれ算出します。
- ・ 各社の借金の残高を合計します。
- ・ その金額を目安に組み替えでまとめたい金額を決めます。
- ・ 申込みたい金額が決まったら、それを何年で返済するか割り算します。
- ・ 単純には、 $100万円 \div 5年間$ だと、 $100万円 \div (5 \times 12ヶ月 = 60回)$ です。
- ・ この場合だと、16,666円になります。これは元金だけです。
- ・ この金額が多いかそうでないかは、人それぞれの判断です。
- ・ 多ければ、年数を7年とかにするか、ボーナス返済併用にするか、を電卓片手に単純に元金だけで検討していきます。

- ・ だいたいの返済額のイメージがつかめたら次は金利を入れて詰めてみます。

細かく計算するには表計算ソフト（エクセル）が必要です。

⇒ <https://www.affi8.com/hensaigaku.xlsx>

※ない方は、ネット上で「金利計算」といった検索をすれば元利均等で返済額を教えてください。サイトが見つかると思います。

（自分で入力して計算するような形になっているサイトがあります）

- ・ 金利は3%とか仮の数値で構いません。実際に計算してみてください。
- ・ ちなみに100万円5年、金利3%だと（元金均等方式で）19,167円でスタートです。（これがMAXになります）

実際の返済額は、元利均等にした場合やお金を借りた日と毎月の返済日をいつにするかで微妙に変わってきます。

・今回場合では、毎月約2万円の返済額となります。

いろいろと自分で組み替え・借り換えのシミュレーションをやってみたら、何とか毎月毎月、返済していけそうな気がしてきたかどうか？ です。

ここまで計算した段階で、毎月2万円なら返せるかな、と納得できたら・・・
次は・・・

少しばかり「びっくり」していただきたいと思います！

普通は、「おまとめローン」的な商品だと金利水準はかるく2桁いきます。

先に計算したソフト（またはサイト）で、金利を現実に限りなく近い

「14%」とか「15%」で再計算してみてください。

この金利水準だと・・・せっかく組み替え・借り換えしてもあまりメリットがない、
というか毎月の返済額が軽減されない、という結果になるかも知れません。

ここで実際に私が相談を受けたケーススタディをみてください。

それから先に進めることにしたいと思います。

⇒ <https://www.affi8.com/390manyentry/>

5. 【ケーススタディ】 組み替え・借り換えで毎月返済額を減らす

おまとめローンを利用できると、複数の借金を「まとめる」ことで返済日を統一できますし、上手くいけば「毎月の返済額を減らす」こともできます。

でも・・・現実的には「結構ハードルが高い」と思ってください。

【390万円のケーススタディ・収入は約550万円】

まずはケーススタディです。

典型的なパターンをサイトに取り上げてみました。

参照してください。

⇒ <https://www.affi8.com/390manyentry/>



【借金相談】奥さんに内緒の借金390万円。組み替え・借り換え・おまとめ・・・銀行の審査結果は？

借金相談のケーススタディ。内緒の借金390万円の相談あり。⇒ 正攻法で複数の銀行へおまとめ・借り換えを要請、その審査結果は？【元銀行員・支店長経験者】が彼に話したアドバイスは？

【このケーススタディで期待していたこと】

- 毎月返済額が8万円から ⇒ 約6.5万円になる（1.5万円の減額）
- もし期間10年超のような長い返済期間を認めてもらえたら・・・
毎月の返済額が、約4.5万円くらいにまで減額となる。
- ただし、その場合は高金利と返済期間が長くなることで最終的なトータルの返済総額はとんでもない金額になる。

それでも・・・本人（相談者）はチャレンジしたい、とのことでしたので合計3つの金融機関に対して計5つの商品に申込み形をとりました。

その結果・・・

【結論】

実は、このケーススタディでは最終的に「おまとめ」は不可となりました。

3つの銀行に打診したのですが・・・**全滅**でした。

それで、最終的には・・・本人が「実家」に泣きつく形を選択することになりました。

それと（立て替えてもらう実家に対しての返済を加速するために）

本書でも案内しているオリジナルの副業にチャレンジして副収入を稼ぐことも選択しました。

いかがでしょうか。

このケーススタディをみての感想は？

結構ハードルが高いものだなあ、と感じられたことと思います。

もちろん相談した金融機関があなたの場合とでは違いますから、あなたが同じような結果になる、というものでもありません。

人によって

- ・借りている借金の件数・総額も
- ・毎月の返済額も
- ・毎月入ってくる給料も（副収入等も含めて）
- ・家族にバレている、秘密にしている
- ・定年退職までの残された年数も

違います。

ひな型はないのです。

※ここでアドバイスです。

本気で借金を返済しよう、完済しよう、と思ったら・・・

本気での決意・決心・決断と覚悟が必要です。

それで、もしあなたが方向性を探りたい、借金の悩みを解決したい、ということでしたらぜひお問い合わせください。

もちろん【無料】です。

マンパワーに制限はありますが可能な限りはお受けさせていただきます。

⇒ <https://www.affi8.com/contact/>

銀行で借り換え・組み替え・おまとめができそうか、どうか・・・ということをおアドバイスさせていただきます。【もちろん秘密厳守です】

個別具体的な相談の結果・・・弁護士さんをお願いするしかないかも知れない、という方向性になるかも知れませんが、ご了承ください。

※私の【無料】相談は特定の弁護士さんへの斡旋や、いろんな銀行・ローン会社への斡旋・媒介・仲介等を意図したものではございません。

※あくまでも自力で新しい人生を再創造するための応援です。

6. 正攻法で金融機関に組み替え・借り換えを申し込むとなったら・・・

決心がついたら・・・

いよいよ実行（組み替え・借り換えの相談・申込み）に移します。

もちろん、その前に組み替え・借り換えのローン商品そのものが銀行にあるかないか、ある場合には最長の期間は何年か、といったことをネットで調べておく手もあります。（その上で、銀行を選択することもあります）

※実は、おまとめローンが商品として用意されていなくても、銀行にはプロパー融資と呼ばれるものがあります。銀行の判断で、保証人や担保を検討しながら審査を進めるものです。

ですから、商品がなくてもプロパー融資も念頭に入れて交渉・お願いに行くことは可能です。

ただし、保証人とか（場合によっては）担保といった話が当然出てきます。

奥さんがいらっしゃるなら連帯保証人として奥さんの話も出てきます。

※連帯保証人・・・本人が返せなくなったら連帯保証人が返すことになるもの。

一般の「おまとめ」「組み替え」「借り換え」ローンと呼ばれる商品は、銀行単独ではなくて一時的な審査をクレジット会社や消費者金融会社にお問い合わせする形での提携ローンが普通になっています。

甲銀行・・・消費者金融A社と提携

乙銀行・・・消費者金融P社と提携

丙銀行・・・クレジットカード会社C社と提携

という具合です。だからこそ審査での可否判断が早いのです。

また、同じ甲銀行でも商品【1】はA社と提携した商品、また別の商品【2】はM社と提携してできた商品、という具合に複数の商品を用意している銀行が多くなっています。

それだけ「ノー」となったお客さま（おまとめ希望のお客さま）を救いたい、別の商品でひろえないか、ということで（どこの銀行も）用意しています。

ですから・・・1つの銀行に対して複数の商品を同時に申し込んでみる、というのもあります。

※ただし・・・デメリットもあります。それだけ困っている人だ、とみられますし、それぞれの審査がダメとなった場合には「その記録が履歴」として残るからです。

傷（キズ）がつく形ですね。

迷うことや疑問点などがありましたら遠慮なくお問い合わせください。

⇒ <https://www.affi8.com/contact/>

ここまですべてを頭に入れた上で、次の選択をしてください。
行動を開始してください。

毎月の借金返済から少しでも精神的に楽になるためです。

【1. 銀行の窓口に行く方法】

- ・自分の給料が振り込まれる銀行に相談するのがいちばんはやいです。
- ・他の銀行だと、もし給与振込口座を自分の銀行に変えてくださいと言われた時に、それを会社に申告できるか、会社が認めてくれるかという問題も発生します。
- ・もちろん給与振込口座の変更を求めない銀行もあります。
- ・アポなしでも大丈夫です。
- ・ただ、1日で審査が終わるかどうかは不明です。
- ・でも、相手が人ですからキャッチボールしながら最良の選択肢を提案してもらえこともあります。
- ・もちろん、同時に複数の銀行をはしごすることは可能ですが、体力的には大変です。

【2. ネットで申し込む方法】

- ・もちろん給与振込の口座のある銀行のサイトでも構いません。
- ・比較検討しながら他の銀行でも大丈夫です。

自分の判断で好きな方を選択してみてください。

以上、ここまでが正攻法での組み替え・借り換えの流れです。

自分の現状（これまでの反省を含めて）とこれからの人生を十分に考えて行動されることをお勧めします。

そもそも銀行は・・・

毎月の返済額に対して、ちゃんと見合う収入があるのか、
返済にいくら回せるのか、
あとのお金で、毎月生活できるのか、

という観点からの判断をします。

もちろん借金に関する履歴書的なものはすべてチェックされて総合的な判断をされることとなります。

ここまで済めば・・・あとは、結果を待つだけとなります。

正攻法での組み替え・借り換え相談は嫌だなあー
とても（説得する・またはOKとなる）自信がない
あまり大っぴらにしたくない、というような感情があるのでしたら・・・

先に、まずは副収入（報酬）アップのための仕掛けづくりを先行させる手もあります。ひよっとしたら身近な環境でも意外なほどの結果につながるかも知れません。

その後、ゆとりができた段階で、正攻法にトライするという選択肢もあり、です。

そもそも【第2部】は下表のような視点からのアプローチの左側についての話です。

借金ダイエットにおいて、借金の悩みを解決するには・・・

【1】 毎月の返済額を減らせないか（なぜなら簡単には給料は増えないから）

【2】 給料の他に副収入を増やせないか

の2つの対策しかありません。（同時にやる手もありますが）

毎月返済額をどうにかする	ダイエットを加速させる
組み替え・借り換えにトライ	副収入を得る（副業）
※第2部はこの話	第3部

もちろん正攻法は左側の話です。

最終的にはこの2つがダメなら・・・最終手段のバンザイ、です。

弁護士さん等にお問い合わせすることになります。

7. 裏ワザ

実は・・・

いくつかの条件等がありますが・・・すべての人に使える「方法」ではありませんが【秘匿性の高い】やり方、があります。

ただ、人生の方向性そのものが違ってくことを選択する必要もありますし、借金の先送りに近いもので、そもそもが根本的な解決策ではありません。

問題先送りと、新しい人生創造を同時にやるものです。
サラリーマンだと奥さんがいる・いない、でも可能性が違ってきます。

そもそも銀行に申込みして、OKとなって、最終的にお金が入ってくるまで最低でも3ヶ月～6ヶ月くらいの時間がかかります。

ですから・・・この「裏ワザ」については個別に対応させていただきます。

ご相談からのキャッチボール等をとおして、どうしても裏ワザの話を聞いてみたい、という方のみお話をさせていただきます。

過度な期待はしないでください。
もちろん個別具体的にヒアリング・キャッチボール、意思確認をした上でご案内させていただきます。

※借金ダイエットを加速する副業プログラム（オリジナル副業プログラム）をお申込みされた方のみとなります。

※繰り返しますが・・・万人に再現可能なものではありません。

【重要】

これは秘匿性の高いノウハウです。
他言しない、という方のみにお話をさせていただきます。

※興味のある方は個別にお問い合わせください。

【注意点】

- ・誰でもトライできるものではありません。
- ・金額によってもできる・できないがあります。
- ・家族の存在（奥さんに話ができる）も関係してきます。
- ・トライしても不可の場合もありえる。
- ・そもそも、自分の人生においては大きな決断事項となるので本当にやる気がないと難しいもの。
- ・下手すると・・・失敗すると「さらに債務が増えるだけになる可能性もあり」
- ・・・・

ですので、毎月の返済額の組み替え・軽減ができなかったら
または組み替え・借り換えのトライの前に返済を加速させたい、という判断の方は
第3部の「ダイエット加速編」にまずはチャレンジ・注力する方が賢明だと思います。

第3部 【ダイエット加速編】

ここでの話は、借金残高をゼロにするための「方策2つ」のうちの後者についての話になります。

毎月返済額をどうにかする	ダイエットを加速させる
組み替え・借り換えにトライ	副収入を得る（副業）
	※今回・第3部

単純に・・・「アルバイトしてください」「副業して稼いでください」「ダブルワークで仕事を掛け持ちして借金返済を優先させてください」といった、突き放すようなアドバイスは無意味だと思っています。

「ネットビジネスがおすすめですよ」

「特に、ゼロから始めて稼げる副業は・・・〇〇と〇△がいちばんですよ」というような情報の提供も中途半端ですし、ある意味では無責任です。

どんな素晴らしいサイドビジネスでも再現性100%というのはあり得ません。みんながみんな成功するものではないのが普通です。

ですから、ここでは・・・私自身が構築した副業モデルをご案内することにします。

最終的にはトライする人の意思決定・判断となりますが、「可能性がゼロでない」ならチャレンジしてみる価値があるのではと思っています。

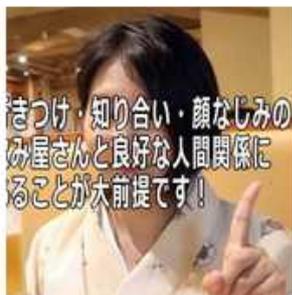
それが・・・今回ご紹介するオリジナル副業プログラムです。

一つずつ順にご案内をと思ったのですが・・・

詳細な説明ページをサイトの方に用意しましたのでご参照ください。

※3つのページがあります。

⇒ <https://www.affi8.com/50-55-60/>



中高年（50歳55歳60歳・定年退職）のトーク集！【お手軽・簡単・即効性ありの副業】

副業・アフィリエイトにチャレンジしたい中高年のためのお薦めオリジナル副業 ⇒ こんなトークができれば継続報酬発生の可能性大！中高年は気力・体力・精神力・持続力が衰えます。ブログアフィリエイトで毎日3000文字超の記事を投稿し続けるなんてことはムリです。それなら・・・

⇒ <https://www.affi8.com/lp/kuchi/>



中高年のためのオリジナル副業。【お手軽・簡単・即効性あり】でラクして継続報酬をずっと手にする可能性に期待してみませんか！

プレゼントを持参してトークするだけの「口コミでのアフィリエイト」です。プレゼント自体を仲良くなるための・トー...

⇒ <https://www.affi8.com/lp/3000myen/>



20歳代からの貯金術【チャレンジャー募集】30年間の勤務で自ら退職金3,000万円を貯める方法を実践してみる！にトライしてみる方はいませんか？

秋田です。還暦過ぎの元銀行員です。定年退職してから第二の人生で起業しています。老婆心からのアドバイスを一...

前提条件として以下の事項を頭に入れた上でご判断ください。

※何といても・・・私が構築した副業モデルはアルコールを提供するようなお店をターゲットにした副業です。

ですから、アルコールが嫌い、飲み会・女子会などが嫌い、アルコールのお店も嫌いという人にはハードルが高いと思われます。

また、人と会話したり、コミュニケーションをとるのが苦手という人、人にお願いごとをするのができない、といった人には不向きです。

※ただし、上手くいったら【限りなくほったらかしで副収入を稼ぐ】ことができる可能性のある副業モデルになっているのでは、と思っています。

【特徴】

- ・PCもスマホも不要。
 - ・サラリーマンが疲れて帰ってから作業するといったものではない。
 - ・毎日、3000文字～4000文字超の記事を投稿し続けるという
ブログアフィリエイト的な副業モデルでもない。
 - ・せどり・転売のように仕入したり、梱包・発送作業が発生するものではない。
 - ・休日返上で作業などは不要。
 - ・仕入資金、在庫資金などは不要。
 - ・ネットビジネスではない。
-
- ・仕事帰りに「飲み屋さん」などをお願いすることでできる副業。
 - ・口コミ、PR、口利き（くちきき）という行動になるもの。
 - ・いわば、販売代理店・フランチャイズとして営業代行するようなもの。
 - ・アルコール好きなお友だちをお願いすることも可能。
-
- ・※「飲み屋さん」に関係なく、一般の職場・お友だち・お店などに
仕掛けることもできます。

【条件】

- ・アルコール好き、アルコールの場の雰囲気・お店が好き、という方向き。
 - ・飲み会・女子会好きな方向き。
 - ・行きつけ・知り合い・顔なじみのお店がある方向き。
 - ・お店の方と会話したり、お願いしたりすることに抵抗のない方向き。
-
- ・顔出しNG、ネットビジネス以外では副業したくない、という方には不向き。

おわりに（未来永劫続く借金体質？）

今現在、借金・ローンを・・・特にキャッシングやリボ払いなどで「回している」方には耳の痛い話になるかも知れませんが・・・再度、聞いてください。

昔、高度経済成長期という時代が日本にもありました。
まさに、私が学生時代から銀行員（社会人）になってしばらくはそんな時代でした。

銀行にお金を預けた時に定期預金の利率が年6%、7%、といった時代でした。
もしも10年間、郵便局に預けていたら・・・

何と・・・100万円が2倍の200万円になっていた時代です。

銀行・郵便局に100万円の預貯金があったら・・・1年後に利息として6万円、7万円もらえていました。（税金は別です。ただ、当時はマル優制度といって1人300万円までは非課税でした）

年6%、7%となれば10年で約2倍になります。

※あなたが銀行に年6%・7%で貯金 ⇒ 銀行があなたに利息を支払う ⇒
⇒ あなたに年6%、7%でお金が入る（利息がもらえる）

※まるで、銀行があなたにお金を6%、7%で借りているようなものです。

一方



もし、あなたがリボ払いやキャッシング、カードローンなどを借りていたら・・・
たぶん金利は年・・・14%、15%という水準です。

ということは・・・

年6%、7%、で10年間で倍になるのなら、年14%、15%で借りていたら、最終的にあなたが支払い金利はいくらになるものでしょうか。

※この場合・・・

⇒ あなたに100万円を貸している銀行（金融機関）は、あなたから14万円、15万円の利息をもらっていることになります。

ガーン！

ではありませんか？

あなたがリボ払い・キャッシング・カードローンを利用し続けるということは・・・

- ・ エンドレスで（いつになったら終わるのでしょうか）
- ・ まるで奴隷のように、相手に、利息をずっと支払い続ける
- ・ 年齢を重ねるごとに、交際費や生活費などは増えていきます。
- ・ 加齢とともに、「(病院代など) 必要なお金」はどうしても増加します。
- ・

あなたが最終的に「借金・借金的なものまで含めて」を返済し終わるのは・・・いつの予定ですか？

いつまでに「終わらせる」つもりですか。

みなさんは、自分では「若い」「まだまだこれから」と思っていることでしょうか。

でも・・・

若いうちは、汚れたジーンズや（ある程度）ボロボロの格好をしていても、周囲はそれなりに納得してみてもらえます。

若者のファッションだと認識してくれます。

それが、歳をとった時に同じようなボロボロの格好をしていたら間違いなく「汚い」という目でみられます。

歳をとると・・・間違いなく若者よりもお金が必要になってきます。
交際費、冠婚葬祭、子どもへの教育資金・・・

まして中高年になれば身体にガタがきます。
病院に行く機会が増え、薬代・サプリー代・・・などが確実に増えていきます。

それこそ人によっては、高価な化粧品、薄毛対策・毛生え薬などの費用も必要となります。

つまり・・・(あなたが若ければ若いほど) 今からいくらでもお金が必要になる可能性が高まるのです。

もし、今すでにリボ払い・キャッシング・カードローン等があるのであれば ⇒
これからの人生において「未来永劫続くかも知れない」「借金体質」から1日もはやく卒業・脱却しませんか？

【借金体質改善は「はやい方が」絶対にいい！】

あなたは自分のリボ払いやキャッシングの利率を把握していますか。
まあ、普通の人だと毎月の返済額にしか意識がいかないと思います。

だから怖いのです。
だから、相手の思うツボなのです。

⇒ <https://www.affi8.com/check/>

時間がある時にでも上記ページにてチェックしてみてはいかがでしょうか。

ショックを受けると思います。

年7%で銀行に100万円を10年間預けたら・・・10年後約196万円。

反対にキャッシング・リボ払いを年14%で借りているとしたら、しかも・・・
反復利用で100万円借り続けるとしたら・・・

年14%で100万円をずっと10年間借り続けたら、10年後に返済する合計は？

・・・370万円！にもなります。

単純計算ですから実際には（元金が減り続けますから）違ってきますが、最終的には・・・なんと370万円を返すことになります。

だからこそ、絶対に「はやいタイミングのうちに」借金からの体質改善に足を踏み出してください。

あなたの借金からの体質改善と新しい人生創造のお手伝いができましたらうれしい限りです。

ここまで本当にありがとうございました。

秋田秀一